

持続可能な観光の推進について

(経済環境常任委員会・所管事務調査報告)

平成28年12月

高松市議会

高松市議会では、毎年度、常任委員会ごとに、委員会の所管事項のうちからテーマを設定し、閉会中継続調査（所管事務調査）を行っている。

そこで、経済環境常任委員会としては、平成28年度の調査テーマを「持続可能な観光の推進について」に決定し、鋭意、調査検討を重ねた結果、このたび委員会として調査結果を取りまとめたので、以下、報告する。

1 現状及びテーマ選定の理由について

本格的な人口減少時代を迎え、活力にあふれ、創造性豊かな高松を実現していく上で、観光振興による交流人口の増大は大変重要な課題であり、本市を訪れる外国人観光客等がふえることにより、高い経済波及効果や雇用創出効果が期待される。また、県内における昨年の外国人宿泊者数は、3年前と比べ2倍以上に急増しており、この機会を捉えて本市のインバウンド等を促進し、交流人口の増大につなげていく必要がある。

そこで、さらなる観光客の誘致を推進し、一過性で終わることのないよう、さまざまな分野との連携の可能性を探り、ひいては地域活性化につなげることが重要であることから、平成28年6月21日の委員会で所管事務調査テーマに選定した。

2 委員会等の開催状況及び活動内容について

(1) 経済環境常任委員会

① 平成28年7月22日 当局からの現状等の説明・質疑応答

〔当局の説明概要〕

国内誘客については、平成29年春に開催されるJRグループを中心

とする大型観光キャンペーン「四国デスティネーション・キャンペーン」の機会を生かした誘客や、航空会社と連携したキャンペーン・旅行博への出展等を、また、海外誘客については、高松空港に就航している国際路線や、その乗り継ぎによる他都市からの誘客を図るため、県と連携して、PR活動や旅行商品の助成支援等を行っている。

また、外国語版ブログサイトによる海外への情報発信を初め、観光パンフレット等の多言語化やWi-Fi環境の整備などに取り組んでいるほか、高松市内の観光関連団体等との相互連携を強化し、観光によるまちづくりを含め、持続可能で豊かな地域社会の実現を目指すために設立された高松観光まちづくりネットワーク推進委員会の取り組みとして手ぶら観光の推進と中央商店街の外国人対応力の向上などの事業が実施されている。

② 平成28年11月8日 先進地視察後の委員間討議

③ 平成28年11月22日 取りまとめ内容の確認・集約

(2) 視 察

① 平成28年10月31日・11月1日 先進地視察

・兵庫県豊岡市及び一般社団法人 豊岡観光イノベーション



・姫路市



3 委員会としての提言内容について

〔12月5日の委員長報告（閉会中継続調査終了）〕

(1) 戦略的誘客の推進についての留意点

- ① 観光ニーズが多様化する中、その地域独自の魅力を楽しむ観光への質的变化に対応するため、豊かな自然や食、伝統工芸・地場産業など、高松ならではの地域資源を生かしたブランド強化や認知度向上を目指した体験型観光などを推進すること。
- ② かがわW i e F i高松の利用状況など、ビッグデータによる観光客の動向を分析し、ICTを活用した戦略的な情報発信に努めること。
- ③ 全国規模のマラソン大会を初め、本市の魅力を発信するイベントの開催など、費用対効果や他都市の開催状況等を調査し、地域経済の活性化や観光・M I C Eの振興に寄与する大会等の実施を検討すること。

(2) 受入環境の、さらなる向上についての留意点

- ① 高松らしい観光資源を充実・アピールし、さらに観光資源を掘り起こす一方で、女木島・男木島での宿泊や簡易宿泊施設など、多様なニーズに対応できる宿泊施設の確保に向けて、国や民間の動向を注視しながら、

必要な施策の検討を行うとともに、滞在型観光の定着に向けた取り組みを推進すること。

(3) 連携体制の構築についての留意点

今後、将来的にDMOを目指す組織となる高松観光まちづくりネットワーク推進委員会や、既に活動している県内の日本版DMO組織等と連携して、民間主導による観光地域づくりを推進するとともに、広域での連携や多様な関係団体との協力体制の構築を図り、観光による地域経済の活性化に取り組むこと。

これら内容を踏まえ、さらなる官民連携を図る中で、人材育成やインフラの整備に加え、地域の観光資源に、一層磨きをかけるとともに、国内外を含め認知度向上やインバウンド獲得につなげるよう、今後、あらゆる機会を捉えた効果的な情報発信に努め、持続的な観光の推進に取り組むこと。